



外務省事業 平成 30 年度カケハシ・プロジェクト

島根県立江津高等学校における発表

日本政府（外務省）が推進する対日理解促進交流プログラムの一環で北米地域を対象に実施する交流事業「カケハシ・プロジェクト」に島根県立大学が採択され、平成 30 年 12 月 9 日（日）～12 月 16 日に、ハワイで日本文化（島根の文化）を伝え、国際社会における対日イメージの向上や日本への関心を増進することを目的に活動を行ってきました。その成果を島根県立江津高等学校で発表させていただく機会を与えていただきました。発表会ではプレゼンテーションの一部を英語で行い、さらなる島根の魅力の発見を目指して、大学生が島根の魅力発見ワークショップを行います。

1. カケハシプロジェクト発表会

- 日程：平成 31 年 1 月 31 日（木）15：20～16：10
- 場所：島根県立江津高校
- プログラム
 1. 概要説明（2 分）
 2. ラフカディオハーンの魅力についての英語プレゼンテーション（10 分）
 3. 石見神楽の魅力についての英語プレゼンテーション（10 分）
 4. ハワイ研修で学んだこと（5 分）日本語
 5. 島根の魅力発見ワークショップ（10 分）日本語
 6. アンケート（5 分）

《参考》

1. カケハシプロジェクト概要

- 派遣先：ハワイ ※山形大学との合同実施
- 派遣期間：平成 30 年 12 月 9 日（日）～12 月 16 日（日）
- 派遣学生：11 名（浜田キャンパス 8 名・出雲キャンパス 3 名）
- 引率教員：ヘネベリー・スティーヴン准教授



2. 当事業の趣旨（カケハシプロジェクト募集要項より抜粋）

■概要

対日理解促進交流プログラムは、日本政府（外務省）が推進する事業であり、日本とアジア大洋州、北米、欧州、中南米の各国・地域との間で、対外発信力を有し、将来を担う人材を招へい・派遣するものです。

カケハシ・プロジェクト（KAKEHASHI Project）は、「対日理解促進交流プログラム」のうち北米地域を対象とした交流事業です。米国派遣事業では 1 年間でおおよそ 350 人規模の将来を担う人材（高校生・大学生・大学院生等）を原則として 8 日間程度派遣します。

■目的

日本と米国との間で、対外発信力を有し、かつ将来を担う人材を派遣し、政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策等に関する対日理解の促進を図るとともに、親日派・知日派を発掘し、また、日本の外交姿勢や魅力等について、本事業参加者から積極的に発信してもらうことで対外発信を強化し、我が国の外交基盤を拡充することを目的としています。